

AXIS インパクト

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS テキスト

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS UD

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS タイトル

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS ディスプレイ

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS コンデンス テキスト

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS コンデンス UD

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS コンデンス タイトル

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS コンプレス テキスト

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

AXIS コンプレス タイトル

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TPスカイ インパクト

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TPスカイ テキスト

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TPスカイ UD

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TPスカイ タイトル

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TPスカイ ディスプレイ

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TP明朝 インパクト

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TP明朝 テキスト

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TP明朝 UD

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TP明朝 タイトル

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

TP明朝 ディスプレイ

新しい社会に必要なフォント。
 文字の可能性を広げたい、それがType Projectの原動力です。
 ウエイトの安定性は、紙面や画面に落ち着きを与え、書体の品質を判断する重要な指標となります。
 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchez という書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたATypelというイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

AXIS テキスト

40 pt

あいうえお
 かきくけこ
 ざじずぜぞ
 たちつてと
 なにぬねの
 ぱぴぷぺぽ
 まみむめも

40 pt

アイウエオ
 カキクケコ
 ザジズゼゾ
 タチツテト
 ナニヌネノ
 パピプペポ
 マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
 City Digital Type
 Family Identity
 Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchez という書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchez という書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchez という書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchez という書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な漢字の数が増加する傾向を示している時期でもあ

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎ

り、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい文字、目立つ文字、大きい文字、太い文字、つぶれない文字。もちろん答えはひとつではありません。この問題を考えるときに外せないのがデジタルサイネージの動向です。都市部の駅を

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な漢字の数が増加する傾向を示している時期でもあ

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところですが、海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎ

り、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい文字、目立つ文字、大きい文字、太い文字、つぶれない文字。もちろん答えはひとつではありません。この問題を考えるときに外せないのがデジタルサイネージの動向です。都市部の駅を

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な漢字の数が増加する傾向を示している時期でもあ

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎ

り、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい文字、目立つ文字、大きい文字、太い文字、つぶれない文字。もちろん答えはひとつではありません。この問題を考えるときに外せないのがデジタルサイネージの動向です。都市部の駅を

40 pt

あいうえお
 かきくけこ
 ざじずぜぞ
 たちつてと
 なにぬねの
 ぱぴぷぺぽ
 まみむめも

40 pt

アイウエオ
 カキクケコ
 ザジズゼゾ
 タチツテト
 ナニヌネノ
 パピプペポ
 マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
 City Digital Type
 Family Identity
 Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な漢字の数が増加する傾向を示している時期でもあったので、使用範囲を限定したフォントをあえてつくろうというフォントメーカ

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、

公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい文字、目立つ文字、大きい文字、太い文字、つぶれない文字。もちろん答えはひとつではありません。この問題を考えるときに外せないのがデジタルサイネージの動向です。都市部の駅を中心に、デジタルサイネージが普及したことによって、情報の更新性は飛躍的に向上しました。その一方で、視覚情報に動きの次元が加わったことで、騒がしさの度合いが高まったのも事実です。とりわけ公共の文字は、広告的な視覚要素とどう棲みわけ、また共存

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたATypelというイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を知りました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な漢字の数が増加する傾向を示している時期でもあったので、使用範囲を限定したフォントをあえてつくろうというフォントメーカ

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、

公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい文字、目立つ文字、大きい文字、太い文字、つぶれない文字。もちろん答えはひとつではありません。この問題を考えるときに外せないのがデジタルサイネージの動向です。都市部の駅を中心に、デジタルサイネージが普及したことによって、情報の更新性は飛躍的に向上しました。その一方で、視覚情報に動きの次元が加わったことで、騒がしさの度合いが高まったのも事実です。とりわけ公共の文字は、広告的な視覚要素とどう棲み分け、また共存

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
 かきくけこ
 ざじずぜぞ
 たちつてと
 なにぬねの
 ぱぴぷぺぽ
 まみむめも

40 pt

アイウエオ
 カキクケコ
 ザジズゼゾ
 タチツテト
 ナニヌネノ
 パピプペポ
 マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
 City Digital Type
 Family Identity
 Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたAType1というイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchez という書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスの Reading で開催された ATypeI というイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な漢

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたATypeIというイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchez という書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスの Reading で開催された ATypeI というイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
 かきくけこ
 ざじずぜぞ
 たちつてと
 なにぬねの
 ぱぴぷぺぽ
 まみむめも

40 pt

アイウエオ
 カキクケコ
 ザジズゼゾ
 タチツテト
 ナニヌネノ
 パピプペポ
 マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
 City Digital Type
 Family Identity
 Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchez という書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスの Reading で開催された ATypeI というイベントに参加した際、ランチでたまたま Porchez と同席し、本人から Le Monde 紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント (exclusive font) の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい

40 pt

あいうえお
かきくけこ
ざじずぜぞ
たちつてと
なにぬねの
ぱぴぷぺぽ
まみむめも

40 pt

アイウエオ
カキクケコ
ザジズゼゾ
タチツテト
ナニヌネノ
パピプペポ
マミムメモ

50 pt

Unique Corporate
City Digital Type
Family Identity
Enterprise Impact

64 pt

光る空、水の音。

18/27 pt

1990年代にフランスの新聞「Le Monde」は、Jean François Porchezという書体デザイナーの提案を受け、オリジナルの新書体「Le Monde Journal」を採用しました。

14/22 pt

1997年にイギリスのReadingで開催されたATypeIというイベントに参加した際、ランチでたまたまPorchezと同席し、本人からLe Monde紙のプロジェクトの話を聞きました。当時、欧米でさまざまな成果を上げていた専用フォント（exclusive font）の手法は、日本ではあまり注目されていませんでした。日本語フォントに必要な

10/18 pt

日本におけるサインシステムの位置づけと関心の低さは多くの人が指摘するところです。海外の駅や空港で、整理された美しい案内表示を見て初めてサインシステムを意識した人も少なくないでしょう。ヨーロッパの伝統ある都市で暮らす人々は、文化的な素養に裏付けられたデザイン意識を持っていることが多いため、公共デザインに向ける目もしぜん厳しいものになります。公共に対する意識が薄い日本で、優れたデザインが出にくいのは当然かもしれません。もちろんコストの問題もあります。導線設計をはじめ目に見えにくい課題が多いため、根本的な解決をおこなうには膨大な資金が必要です。広く社

会で案内表示の重要性が認識され、そこに十分な予算と時間が配分されないかぎり、日本の公共サインが良くなる可能性はきわめて低いと言わざるをえません。しかも現在は、スマートフォンが道案内をしてくれるため、公共サインの存在意義はますます揺らいでいます。公共空間に設置されたサインシステムをエリア利用客とのタッチポイントと考え、ルート情報を分かりやすく提示するだけでなく、新たな利用価値を加えつつ景観に寄与する存在であることが求められます。

では、そのようなサインに求められる文字の条件とは何でしょう。見つけやすい文字、分かりやすい